

たかねざわ

議会だより

10

October.2018
No145



笑顔でタッチ!

広がる思いやりの心

Contents

- 9月定例会
平成29年度の事業をしっかりと確認 2
- 決算特別委員会審査 14
- 議会からの次年度予算要求 16
- 一般質問
熱中症・道の駅・災害対策など6議員が町政を問う..... 17
- 突撃インタビュー
北高根沢中学校区生活支援コーディネーター 古口栄子さん... 24

「表紙の写真」
9月に行われた
※RUN伴2018

※RUN伴
「認知症からまちづくり」のキーワードで全国各地にて開催されているイベント

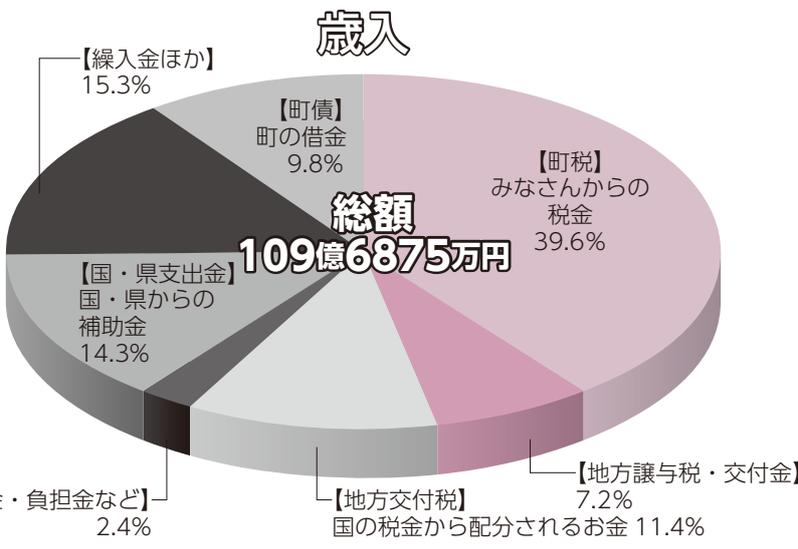


しっかり確認！ 歳入歳出決算を認定

9月
定例会

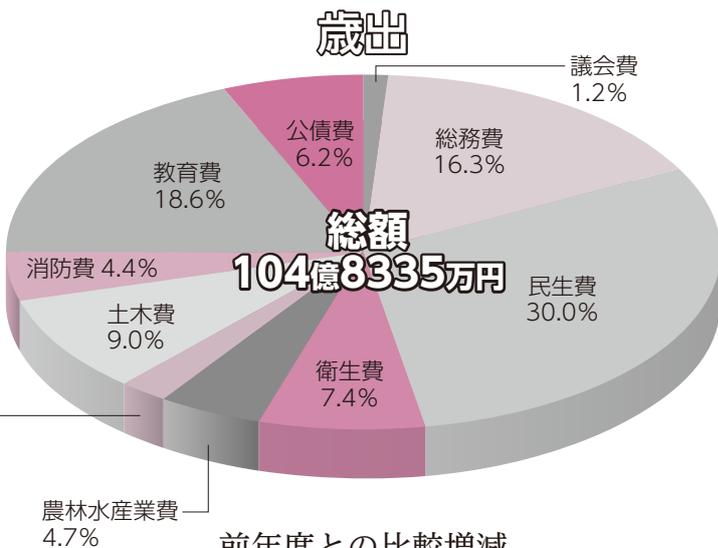
原案全てを
可決

9月定例会 採決結果 委員会審議 予算要求 一般質問



前年度との比較増減

名目	29年度	28年度	増減率
町税	43億5653万円	43億3659万円	0.5%
地方交付税	12億5284万円	12億9413万円	△3.2%
国・県支出金	15億7039万円	16億4087万円	△4.3%
町債	10億7400万円	5億8190万円	84.6%



前年度との比較増減

名目	29年度	28年度	増減率
民生費	31億4134万円	31億4733万円	△0.2%
教育費	19億5045万円	12億7205万円	53.3%
土木費	9億4367万円	9億303万円	4.5%
農林水産費	4億9067万円	5億5033万円	△10.8%

第389回定例会は、9月4日から18日まで15日間に渡り開催しました。平成29年度決算認定で8議案、平成29年度の決算に係る報告6件、平成30年度補正予算7議案、条例改正4件、さらに陳情審査と盛り沢山の審議を行いました。一般質問は6人の議員が行い、働き方改革による社会変化への対応、定住人口4万人への挑戦、空き家対策、元気あつぷむらの経営改善、新庁舎整備スケジュール、宝積寺市街地の生活環境整備について執行部と議論を交わしました。

また、各常任委員会では、付託された補正予算等の議案を審議、決算特別委員会では全議員にて、平成29年度の予算の執行状況及び事業内容を確認しました。

最終日は、各常任委員長より、委員会審議報告がされ、全議案を原案のとおり可決しました。さらに、追加議案として議会条例の一部改正を可決しました。



元気に成長♪町の未来を担う子どもたち

町の事業を 平成29年度

平成29年度

一般会計決算の内容

歳入総額は、109億6875万円
で、前年度に比べ11億7632万
円の増額となりました。

歳入の構成をみると、町税が全体
の39%で歳入の柱となっています。

歳出総額は104億8335万
円、前年度に比べ10億4965万
円の増額となりました。

民生費が全体の30%で、町民の福
祉に多くの予算を充てています。

その中で、少子高齢化に対する予
算は、介護保険・後期高齢者医療特
別会計への繰出金や、保育園の運営
委託に使われました。

教育費は、小中学校施設修繕やエ
アコン整備、東小学校校舎整備など
が大きな比重を占めています。

全体的には、子育て、教育、高齢
者支援などに配慮した財政運営をし
てきたことが確認できました。

平成29年度 各会計別決算 総括表

名目		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		109億6875万円	104億8335万円	4億8540万円
特別会計	国民健康保険	31億9723万円	30億6904万円	1億2819万円
	後期高齢者医療	2億5933万円	2億5666万円	267万円
	介護保険	21億6999万円	21億2027万円	4972万円
	宝積寺駅西第一土地区画整理事業	1億3194万円	1億156万円	3038万円
	公共下水道事業	10億564万円	9億3418万円	7146万円
	農業集落排水事業	1億5429万円	1億4505万円	924万円
水道事業会計	収益的収入及び支出	5億9150万円	5億1297万円	7853万円
	資本的収入及び支出	5321万円	3億3837万円	△2億8516万円

総括質疑

平成30年度一般会計補正予算
「元気あっぷ創生課」に関する
質疑

質疑

地域振興の核になっている温泉施設「元気あっぷむら」の、振興や整備を専門に担当する「元気あっぷ創生課」を新設することについて、1. 職員の執行体制は？

2. 職員給与費900万円及び職員手当等960万円、共済費300万円の積算根拠は？

回答

1. 執行体制は、課長1名、課長補佐兼係長2名、担当職員1名の4人体制とします。

2. 職員給与費等は、10月からの6ヶ月間で、平均的な人件費で計上しました。
今後必要な事業費等が確定しだい、人件費も併せて補正します。

平成30年度一般会計補正 予算の概要

主な事業の増減額は、

- ・新庁舎整備事業費 △432万円
- ・障がい福祉サービス事業費 2272万円
- ・子ども・子育て会議事業費 250万円
- ・農地集積事業費 483万円
- ・元気あつぷむら整備事業費 △644万円
- ・農道整備事業費 500万円
- ・道路ストック事業費 △1900万円
- ・学習支援事業費 184万円
- ・東小学校整備事業費 △657万円
- ・町民広場維持管理費 618万円
- ・スポーツイベント開催事業費 △69万円
- ・情報の森テニスコート
改修事業費 350万円
- ・給食運営費 374万円

のほか、職員の人件費、特別会計への繰り出し金等がありました。

匿名寄付者の思いから新たな支援事業が創出 不登校児童・生徒に寄り添う学習支援はじまる

注目！不登校児童生徒への 新たな支援事業

・学習支援新事業

今回の補正予算の歳入で、一般寄付金が3者からあり、そのうちの1名の方が、町へ寄付をするにあたり、「この寄付金を恵まれない学習環境にある子ども達の支援に使ってほしい」という思いを受け、新たな支援事業を創出しました。

不登校児童・生徒への事業は、「ひよこの家」、「いじめ・不登校予防対策」、「スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用事業」などを行っており、この度のありがたい寄付により、さらに不登校児童・生徒に対する手厚い支援ができる様になりました。

事業内容
「ひよこの家」に通えない児童・生徒に対し、3名程度の支援員による「相談」、「学習支援」を行うものです。

主な事業の概要説明

新庁舎整備事業の無期限延期

・新庁舎整備事業費

この事業は、平成30年から平成32年度までの3年間を「継続費」という形で予算を組んでいました。

しかし、現段階における重要課題は「土づくりセンター」の今後の在り方と、「元気あつぷむら」の道の駅化に向けた整備があり、これらを最優先としたことから、この整備事業は無期限延期という形になりました。

これにより、今回減額補正をし、事業費を0円にしました。

町道の補修費が減額

・道路ストック事業費

この事業は、光陽台市内の町道209号線の路面の調査をした結果、修繕の必要性が高いと判断し、当初予算で設計委託400万円、修繕工事費1500万円が計上されてきました。

しかし、今回の補正において、この事業に対する国の補助金が当初見込みよりも低いことが判明し、町単独の予算では厳しいため、事業費の全額を減額補正し、次年度に事業が実施できる計画を再構築することになりました。



老朽化の進む庁舎
新庁舎整備は継続的に検討する必要がある



光陽台市内の町道209号線
つぎはぎの路面



「フリースペース
ひよこの家」紹介



スクールカウンセラー・ソーシャル
ワーカーの役割

新しく創設される特命課 精鋭職員4名が着任

・職員給与費（元気あつぷ創生課）

今回の定例会において採決した、新しく創設する「元気あつぷ創生課」において4名の職員分、2160万円が新たに補正されました。

配属される職員は、「都市整備課」、「産業課」、「企画課」、「総務課」の4つの課から異動となった職員で構成されています。

この課に任された仕事は、「元気あつぷむら」の道の駅に伴う整備に對し、特命課として役割を果たしていきます。

「道の駅 元気あつぷむら」として、再び活力ある、魅力ある、行きたくなる施設になるよう、これからの取り組みに注目すると共に、期待しています。

議会としても、住民意見を取り入れた提言をし、町民に愛されるよう施設となるよう努めていきます。



どんな形でリニューアルするのか注目される！

傍聴者の声



大山 晃一さん（46歳）
職業：金融業 出身：宇都宮市

私は、年4回開催される町議会定例会を毎回傍聴しています。

議会は民意が反映されることとあり、町民の暮らしに直結するものです。

毎回様々な議論が繰り広げられていくにもかかわらず、傍聴者が少ないことが非常に残念です。

議員の方々には、今まで以上に町民の声を町政に反映していただき、身近な議会になるよう、積極的に情報発信し、魅力ある町づくりに貢献していただきたいと思います。

知ってますか？ 人権擁護委員さんを

人権擁護委員って
どんなことをしている人？

今定例会において、諮問第1号として「人権擁護委員の推薦」に對する意見が議会に求められました。

この時に、「人権擁護委員さんの役割を町民の皆様は知っているのだろうか？」と思い、ここで紹介していきたいと思えます。



人権まもる君

人権あゆみちゃん

Q

人権擁護委員ってどんな方？

「人権擁護委員」は、「人権擁護委員法」に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をしている民間ボランティアです。

Q

委員の役割は？

地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いや、法務局の職員と協力して、人権侵害による被害者の救済、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動が主な役割です。

Q

高根沢町には、何名の方がいるの？

人権擁護委員は現在、全国に約1万4000人います。

本町は、6名の委員が委嘱され活動しています。

Q

報酬はあるの？

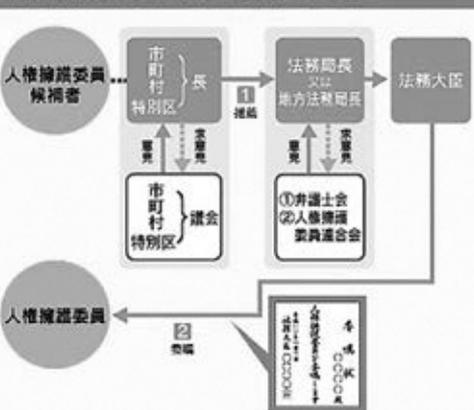
報酬は、無報酬です。

Q

委員の委嘱と任期は？

委員の委嘱は、市町村長が、市町村議会の意見を聞いて、人権擁護委員の候補者を法務大臣に推薦し、委嘱されます。委員の任期は3年間です。

人権擁護委員はこうして委嘱されます



犬猫の不妊・去勢に関する意見書を提出 行政の判断に期待する！

陳情審査の流れ

- ① 陳情者が文書で議会事務局に提出
- ② 議会事務局で形式や記載事項等を確認し、議長が受理
- ③ 議会運営委員会で付託先等や陳情の取扱いについて協議
- ④ 本会議で正式に所管の委員会に付託（審査依頼）
- ⑤ 所管の委員会で詳細に、慎重に審査を行い、採択・不採択・一部採択・継続審査等を決定
- ⑥ 本会議において、委員長が委員会の審査結果を報告し、その結果を基に最終的な陳情等の取扱い（採択・不採択・一部採択・継続審査等）を議員全員で決定（議決）

陳情審査で総務常任委員会が審議した結果、原文の内容を本町の現状に合わせた文章にし、議会から町へ意見書という形で提出しました。

犬猫の不妊、去勢手術費用助成制度設置を求める意見書

栃木県動物愛護管理推進計画では「人と動物の共生できる社会をつくり、処分ゼロを目指します」となっておりますが、栃木県における平成28年度の犬猫の殺処分数は601頭でした。何の罪もない犬や猫が殺処分されております。

動物の愛護及び管理に関する法律では、動物の所有者の責任として、動物がその命を終えるまで適正に飼養することや、動物がみだりに繁殖して適正に飼養することが困難とならないよう、繁殖に関する適正な措置を講ずるよう努めなければならないと明記されており、不妊、去勢手術は所有者に責任があると認識します。

しかし、当町における実態としては、「物置で子猫を産まれてしまった」「日常的に庭先で糞や尿をしている」「花壇や畑を荒らされる」「車にキズを付けられた」などといった苦情を多く耳にしています。

このようなことから、法令等と実態とを照し合せ、町民の動物愛護精神を醸成するための一つ的手段として、また、所有者の責任である繁殖に関し適正な措置を図るために、犬猫の不妊、去勢手術費用の一部を町が負担することは、適正な飼養頭数をコントロールする有効な方策となることから、助成制度の設置を希望するものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成30年 9月18日

高根沢町長 加藤 公博 様

栃木県高根沢町議会



町へ提出した意見書 「動物愛護精神」の醸成を
(犬猫の不妊・去勢手術費用助成制度の設置に関する陳情の
審査は9ページの総務常任委員会報告に記載しています。)

循環型農業や医療費、原発に 関する陳情審査結果

- ① 高根沢町土づくりセンター存続に関する陳情
審議結果 継続審査
(内容詳細は13ページに記載)
- ② 高根沢町土づくりセンター継続稼働に関する陳情
審議結果 継続審査
(内容詳細は13ページに記載)
- ③ 患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情
審議結果 継続審査
(内容詳細は10ページに記載)
- ④ 難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情
審議結果 継続審査
(内容詳細は11ページに記載)
- ⑤ 東海第二原発の稼働延長を認めない意見書提出を求める陳情
審議結果 継続審査
(内容詳細は8ページに記載)

各々の議員がしっかりとした判断・審査!!

9月定例会 採決結果一覧表

議案		議員名														採決結果	
		澤畑 宏之	高根 博	佐藤 晴彦	鈴木伊佐雄	中山喜美一	加藤 章	齋藤 誠治	梅村 達美	横須賀忠利	小林 栄治	神林 秀治	森 弘子	野中 昭一	鈴木 利二		阿久津信男
発議第1号	議会決算特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1号	課設置条例の一部改正（元気あっぷ創生課）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第2号	監査委員に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	家庭的保育事業の設備・運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第4号	水道事業・下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	平成29年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第6号 第8号	平成29年度 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第9号 第11号	平成29年度 宝積寺駅西第1土地区画整理事業・公共下水道事業・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	平成29年度水道事業会計剰余金の処分・歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	平成30年度一般会計補正予算議決	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第14号 第17号	平成30年度 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・宝積寺駅西第1土地区画整理事業特別会計補正予算議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号 第19号	平成30年度下水道・水道事業会計補正予算議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	たから保育園に係る指定管理者の指定の期間の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	土づくりセンター存続に関する陳情（委員会は継続審査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	土づくりセンター継続稼働に関する陳情（委員会は継続審査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情（委員会は継続審査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情（委員会は継続審査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情（委員会は継続審査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
陳情	犬猫の不妊去勢手術費用助成制度の設置を求める意見書（委員会は採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第1号	犬猫の不妊去勢手術費用助成制度の設置を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 齋藤武男議員は、議長であるため採決に加わりません。 ※2 ○は賛成で、×は反対、◎は可決の意味を表しています。

9月定例会 採決結果 委員会審議 予算要求 一般質問

平成30年度

補正予算審議

説明

主な補正内容は、

(歳入)

・町税

5,200万円

・普通交付税

1億6,544万円

・一般寄付金

530万円

※臨時財政対策債

2,600万円

(歳出)

・新庁舎整備事業費

△432万円

・松谷正光

ドリーム基金

200万円

が主なもので、その他に職員の人件費、各統計調査事務費などの増減額補正がありました。

※臨時財政対策債

国の地方交付税の財源が不足した時に、交付額を減らし、地方公共団体に地方債を発行させる制度で、自治体が地方債を発行するが、償還する費用は後年度の地方交付税で交付される。

委員会 審議報告!!

全課 税務課 環境課
議会事務局

一般会計補正予算に関する主な質疑

町民の給与所得アップ? 個人町民税の件数・税額が増加

Q

町民税の給与所得者特別徴収の件数と金額は?

平成29年度と30年度の比較で、個人

A

特別徴収の年度当初時の比較で、

平成29年度調定件数 1万1158件

税額

14億3638万円

・平成30年度調定件数

1万1509件

税額

14億6873万円

でした。

調定件数は、351件の

増加で、税額は3234万

円増えています。

高根沢町を思う心に感謝!! 住民・企業から寄付をいただく

Q

一般寄付金の530万円は何件からの寄付で、その内訳は?

A

寄付をくださった方は、個人2名と企業1社で、内訳として、

・松谷正光氏

200万円

・匿名寄付者

240万円

・建設関係企業

90万円

であり、この寄付は「松谷正光ドリーム基金」の積み立てや、「学習支援事業」などに活用して、有効的な事業推進を図ります。

陳情に関する審議

東海第2原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情

陳情者

原発いらない栃木の会

陳情内容

この陳情は、東海第2原発の40年を超える稼働延長を認めない旨の意見書を採択し、採択した意見書を稼働許可を持つ「原子力規制委員会」や「関係官庁」に対し、送付を希望する内容です。

審査結果

第二原発の再稼働は、東海村と周辺5市の首長懇談会が、日本原子力発電と事前了承を認めた安全協定を結んでおり、今後は懇談会等で議論された内容を踏まえて判断するとの意見に集約され、閉会中の継続審査となりました。

主な意見

・町民の安全安心を考えるなら、再稼働は認められない。
・エネルギー政策は国策である。

・この国から原発の知識・技術を無くすことはできず、「本町に近いから反対」という論点での判断はできない。
などの意見が出ました。

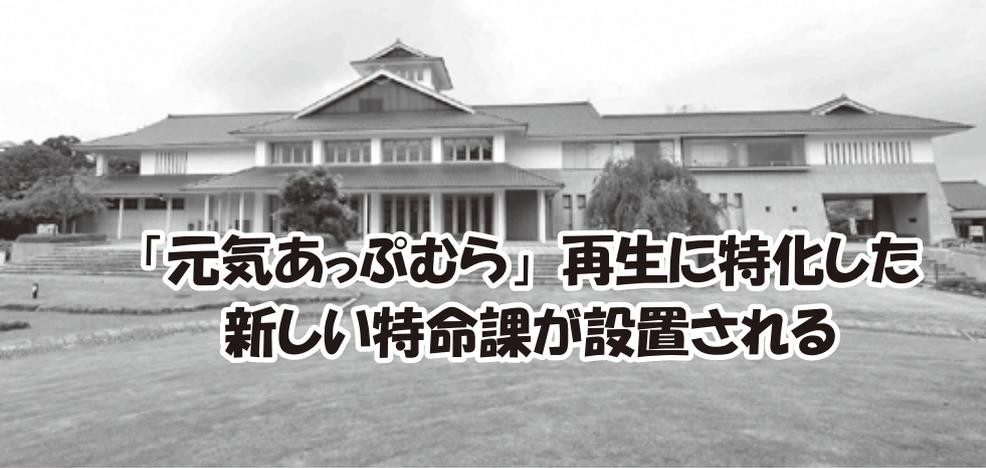


右の図は、東海第二原発を中心に、10km間隔で円の線を示したものです。

本町までの距離は、約60kmです。

原発とエネルギー政策は密接な関係です。

原発稼働の是非を問うとともに、各々が節電の意識を持ち取り組む必要があるのでは。



「元気あっぷむら」再生に特化した新しい特命課が設置される

総務常任 付託案件の

所管課： 総務課 企画課 地域安
会計課 監査委員事務局

町条例の一部改正に関する審議

課設置条例の一部改正

説明

この改正は、新たな課を設置するため、条例の一部改正を行うものです。

「元気あっぷむら」の「道の駅」化にあわせて、大規模な施設の再整備を進めていくため、組織機構の一部見直しを行い、所掌事務を「元気あっぷむら」の活性化に特化した「元気あっぷむら」を新たに設置するものです。

今回の定例会で議決されたことで、平成30年10月1日からスタートしました。議会における所管委員会は「建設産業常任委員会」となりますが、住民の皆様も今後の事業展開を注目していることから、しっかりとした審議を議員全員で行ってまいります。

犬猫の不妊去勢手術費用助成制度設置の陳情

陳情者

栃木県不幸な動物を無くす会

主な意見

陳情内容

この陳情は、6月定例会で継続審査になっており、犬猫の不妊・去勢手術費用の助成金制度を、本町においても創設を希望する内容です。

審査結果

適正な飼育コントロールを後押しする有効な方策として、助成制度の創設を希望すると文言の整理をし、全員一致で採択しました。

Q

新たな課を設置しなくても、現在まで「元気あっぷむら」を担当してきた産業課内部での組織改編で済むと思うが？

A

既存組織での対応や、産業課内の新たな係を設置してはどうかなど、様々なケースを検討しました。

Q

一刻も早い経営改善を目指すのなら、本年3月議会で条例改正を行うべきだったのでは？

A

「元気あっぷむら」が本年8月に完成するまで、計画の全容が不明確であったため、組織改編に踏み切れなかったため、このタイミングとなりました。

Q

ハード整備だけでなく、既存施設を利活用したソフト面の充実も図るべきと考えるが？

A

「元気あっぷむら」創生の係と振興を図る係を置き全体的に取り組んでいきます。

また、運営形態を見直す必要性を感じるため、新たな課で検討し、「元気あっぷむら」を抜本的に考えていきます。

ペットは大切な
家族の一員です♪
動物の
殺処分ゼロ社会を
みんなで作ろう!!



環境省「捨てず増やさず飼うなら一生」パンフレットQRコード

平成30年度
補正予算審議

説明

主な補正内容は、
(歳入)

・子どものための教育・保育給付交付金 1億8800万円

・障害福祉サービス費等負担金 587万円

・介護保険特別会計繰入金 1517万円

(歳出)

・東小学校校舎整備事業費 △657万円

・障がい福祉サービス費 2272万円

・支給事業費 184万円

・不登校児童生徒学習支援事業委託 618万円

・町民広場維持管理費 (浄化槽修繕工事)

・東小学校校舎整備事業費

・障がい福祉サービス費

・支給事業費

・不登校児童生徒学習支援事業委託

・町民広場維持管理費

(浄化槽修繕工事)

618万円

が一般会計の主なもので、その他、人事異動等に伴う人件費の補正でした。

委員会
審議報告!!

みらい課 生涯学習課

一般会計補正予算に関する主な質疑

障がい者福祉事業の増額補正の経緯

Q

障がい福祉サービス費支給事業費が増額となったが、主にどのような事業が行われたのか？

A

障がい者支援事業で、7月から町内の就労継続支援（B型）事業所1ヶ所、放課後等デイサービス事業所1ヶ所、町外（さくら市）への児童発達支援サービスが増えたことによるものです。

町民広場浄化槽の老朽化

Q

町民広場の浄化槽修繕工事は、どのような工事なのか？

A

浄化槽内の機械の劣化により、正常に動かなくなってきたことで、取り換え工事及び浄化槽の汚水汲み取り工事を行います。



グラウンド北側にある浄化槽

情報の森テニスコートの改修工事

Q

防球ネット増設工事が行われるが、工事内容は？

A

防球ネットの高さは3mだったが、隣接する車道にボールが飛び出る事案があり、今後危険な状況をなくす為、8mまで高くし、安全に使用できるようにします。



安心して使えるテニスコートへ

東小工事完了清算

Q

東小学校校舎整備における工事請負費及び備品購入費が減額になった理由は？

A

工事費は、完了に伴い清算した結果として減額補正となり、備品購入費は予定した金額よりも安く購入できたためです。

陳情に関する審議

患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情

陳情者

栃木県保険医協会

陳情内容

いつでも、どこでも、誰でも安心して医療機関に受診できる状態を維持するためにも、今後の国の方向性は、患者負担増になりうる要因として
・75歳以上の窓口負担を原則一割から二割にしないこと
・受診の度に窓口負担に上乗せしないこと
・薬の保険外しにより患者負担を増やさないこと
費用の心配なく受診できるための窓口負担軽減を求めている内容です。

主な意見及び審査結果

現役人口が減少する一方で、高齢者人口がピークを迎えることが予想され、給付の構造だけでなく負担の構造についても議論をしていく必要があるとの意見により、閉会中の継続審査となりました。



指定管理保育園の管理期間が 平成32年3月31日まで延長!

教育福祉常 付託案件の

所管課： 学校教育課 こども
住民課 健康福祉課

たから保育園の指定期間変更

説明

たから保育園の、指定管理者制度を導入して10数年が経ち、今後どのような保育園の運営形態が利用者にとってよいか、また保育サービスの更なる充実に向けた検討をするため、保護者の意見聴取や客観的な評価を実施するなど、検証が重要となります。
そのため十分な期間を必要とするため、指定管理期間を1年延長し平成32年3月31日とするものです。

主な質疑

Q 保護者への説明を行ったのか？

A また、参加できなかった保護者への対応は？

A 8月31日と9月1日の2回に分けて説明会を開催しました。

参加できなかった保護者へは文書を送付し、主旨理解を図れるよう対応を行いました。

高根沢町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

説明

家庭的保育事業所等は、連携保育施設の確保義務があり、連携協力者が代替保育を行うことで、連携施設が行う代替保育に代えることができます。
連携協力者との取り決め内容や、代替保育を行う場所による連携協力者の条件、食事の提供に関する特例、居宅で保育する事業所に対し、調理設備の経過措置などの規定について、規制を緩和するものです。

Q

本町で該当する事業所は？

A

該当する事業所は1件あり、トチナビ有Limit社が運営している「ゆうゆうランド高根沢園」があります。



町内唯一の小規模認可保育園
ゆうゆうランド高根沢園

難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情

陳情者

栃木県保険医協会

陳情内容

平成26年5月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が成立し、平成27年1月から新たな難病医療費助成制度が施行され、助成対象となる疾病が大幅に拡大された一方で、自己負担の引き上げや認定基準の強化が行われたという内容です。

主な意見及び審査結果

制度の後退により、難病対象であっても申請を行わないという現状について、詳細に調査・研究すべきであるという意見が出され、閉会中の継続審査となりました。



難病医療費助成制度QRコード

平成30年度
補正予算審議

説明

主な補正内容は、

(歳入)

- ・社会資本整備総合交付金 △3516万円
- ・地籍調査事業負担金 △216万円
- ・農地集積事業費交付金 433万円
- ・農業基盤整備促進事業費補助金 △245万円

(歳出)

- ・農地集積事業費 483万円
 - ・元気あつぷむら整備事業費 △626万円
 - ・農道整備事業費 500万円
 - ・道路ストック事業費 △1900万円
- が主なもので、その他に職員の人件費、公園維持費、特別会計操出金などの増減額補正がありました。

任委員会
審議報告!!

産業課 上下水道課
事務局

一般会計補正予算に関する主な質疑

補助率の低下!!
国・県ともに財源が不足か

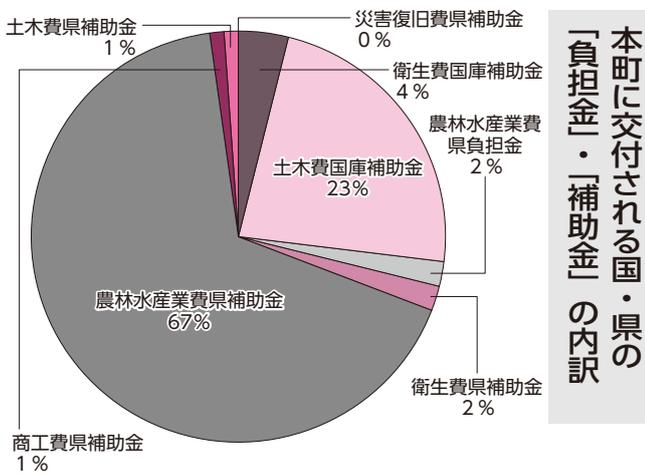
A 国の方針として、「被災地の復旧・復興」や気候変動や災害が増えている中で、「安全・安心の確保」に重点を置いているため、高根沢町のみならず全国的に補助率が下がっています。

Q 道路維持費における国・県の交付金や補助金が減額補正となっているが、その理由は?

農地集積により有効活用を!!
交付金により7件貸付

A 交付金の利用については、面積に対する幅があり、1haを超える2ha以下が2件、2ha超えが5件の計7件分での貸付分となっています。

Q 今回の農地集積事業の面積は?



農地集積により効率的に利活用

教えて

農地集積事業ってなあ〜に?

農地集積事業とは・・・

農地中間管理機構が出し手（農地所有者）から農地を借り受け、まとまった形で意欲ある担い手への利用集積を促進する事業です。

担い手とは、地域の将来設計となる「人・農地プラン」の中心経営体や認定農業者、集落営農（法人）等であり、毎年、定期的に公募します。

事業は、市町、円滑化団体、農協等と連携・協力し、実施していきます。

対象となる農地は、農業振興地域内の農地であり、貸借期間は、原則10年以上です。

また、担い手への農地の集積・集約化に協力していただく個々の出し手に対する支援として、農地中間管理機構に農地を10年以上貸し付けた場合、貸付面積に応じた経営転換協力金の交付を受けることができます。

「補助金」「助成金」「負担金」「交付金」の違いって何?

補助金	国、地方公共団体が審査を通過した企業などが行う事業に対して支給する支援金
助成金	国、地方公共団体が条件を満たした事業に対して支給する支援金
負担金	国が特別な利益を受ける事業に対して義務的に一定額を負担する給付金
交付金	特定の目的をもって交付する金銭を幅広く指す

建設産業常 付託案件の

所管課： 都市整備課
農業委員会

どうなる「土づくりセンター」 2団体が陳情を提出

陳情に関する審議

土づくりセンターの存続に関する陳情
&
土づくりセンター継続稼働に関する陳情

陳情者

高根沢町土づくりセンター利用組合

陳情内容

この陳情は、本年5月に、「土づくりセンター」の一部が破損し、現在は堆肥「たんたんくん」の製造を行っていない状況にあり、今後のセンターの方向性が検討されています。

当組合は、堆肥製造の原材料「畜糞尿」の提供・収集を安定供給するため、利用組合を設立し運営してきました。

その一方、畜産環境は日々変化し、「家畜排泄物法」などにより、管理基準も厳しくなっています。

循環型農業と畜産環境発展に資することから、センターの存続を強く希望する内容です。

陳情者

J A しおのや高根沢地区園芸生産部会連絡協議会

陳情内容

この陳情は、「土づくりセンター」の再稼働と「たんたんくん」の製造を求めらるるものです。

生産者は、「たんたんくん」の製造がストップし、供給を受けられない状態になっています。

現在、「たんたんくん」の散布を条件にブランド化している「枝豆部会」や「なす部会」は、市場・消費者から高い評価をされており、その他の部会でも「たんたんくん」を投入し、土づくりを積極的に取り組んでいます。

今後、循環型農業を更に進め、安全・安心な農産物を生産していくためには有機質堆肥「たんたんくん」は必要不可欠という内容でした。

主な意見

この2つの陳情は、理由に相違はあるものの、「土づくりセンター」の継続稼働を求める同等の内容であるため、2つの陳情をまとめて審議しました。

今回の定例会前の全員協議会で、センターの今後の方向性の検証の説明を受けたが、現段階では判断材料が乏しく、今後の分析に時間をかけ慎重に判断することが必要ではないか。

などの意見が出ました。

審査結果

今後の展望を踏まえ、更なる調査・検証をし、慎重な判断をするために、全委員一致で閉会中の継続審査となりました。



本町の農産物ブランド化に必要な「堆肥たんたんくん」

特別会計&事業会計に関する審議

宝積寺駅西第一
土地区画整理事業
特別会計

説明

今回の補正は、歳入として一般会計繰入金額の減額や平成29年度事業確定による繰越金の確定であり、歳出として職員の給与費でありました。

Q

今回の補正内容に
関係はないが、一般保留地の売却状況は？

A

本年4月に、一般保留地10区画を公募したところ、全区画売却となりました。

※保留地

土地区画整理事業により新しく生み出された土地は、公共用地（道路、公園など）と売却する土地に分けられます。このうち、売却し事業費の一部に充てられる土地を保留地と呼びます。

水道事業会計
「経営計画」を策定

説明

今回の補正内容は、職員給与費増額補正と継続費「新水道ビジョン策定事業」委託業務の締結による減額補正という内容でした。

Q

「新水道ビジョン策定事業」とは何か？

A

水道事業の経営計画的なもので、10年を目安に策定します。現在の計画は、平成31年度が目標年度で、平成32年度から10年間の水道事業計画の策定をするものです。



現在の町水道ビジョンの概要

に使われているか？

額171億1015万円を認定

今回も決算特別委員会を設置し、全議員で慎重審査！！

町の予算が適正に執行されているかを確認することは重要で、「住みやすい町の実現に向けた施策」であるか、「暮らしの安全・安心の確保」、「定住人口の増加による地域活性化」を目指しているか等の観点から、慎重に審査しました。

結果、賛成多数で採択！！

Uターン促進事業

事業内容と効果は？

A

「行っちゃおう？たかねざわ」を2回開催しました。

好評であり、高根沢町に移り住んでもらうきっかけになると捉えています。

また、「駅の前のマーケット」を4回（内1回は荒天のため中止）開催し、多くの来場者で賑わい、高根沢町を知ってもらうきっかけとなりました。

地域おこし事業

地域おこし協力隊2名の活動内容及び評価は？

A

「のおおの音楽祭」や「宝探し」等を開催し、多くの音楽活動グループや地元の飲食店が参加しました。

町の良さを知ってもらうと共ににぎわいを創出する活動になっています。

創業支援事業

事業内容と効果は？

A

家賃の2分の1を限度に月5万円以内を24か月間補助します。

7件の創業支援を行いました。創業には、様々なハードルがあるため、情報交換をしながら相談に乗ります。また、取りやめた場合には、その理由を分析します。

要援護者支援委託事業

委託事業の内容は？

A

社会福祉協議会に委託しています。

高齢者のみ世帯、身体障がい者1級・2級、要介護3以上の方などを調査し、希望者を要援護者台帳に登録します。

月に2回、住民基本台帳から新たな該当者の情報を得て、調査委員が訪問します。

緊急通報装置貸付事業

事業内容と効果は？

A

一人暮らしの高齢者世帯に貸し付けています。

アルソックに委託し、140件の利用があります。利用者はボタンを押すだけで、警備会社が適切に対応します。装置を設置していることで、利用者の安心につながっています。



多くの来場者で賑わう「駅前のマーケット」

JR烏山沿線まちづくり推進事業

本事業の活動内容と成果は？

A

駅からハイキングの実施や、マルシェを開催して、特産品や観光の魅力を発信し、さらにサイクリングマップを作成・配布しました。

29年度は、観光客入込数が約4万人を記録しました。



重要な役割を担う移住・定住・創業支援センター

みんなの税金は有効

平成29年度の全事業歳出総

町税収納対策

Q 差し押さえ件数とその収納額は？

A 不動産2件、債権209件、不動産609件で収納額は1830万円です。

今後自主財源の確保及び税負担の公平性の観点から効率的に滞納整理に努めていきます。

ふるさと納税 奨励事業

Q 事業の成果と課題は？

A 返礼品は、納税額の3割が限度です。214件で374万円のふるさと納税がありました。返礼品は、イチゴやジャム・スコーン等が主なものです。今後は、町内産の梨やぶどう等も含める予定です。

つづくりセンター 維持管理費

Q 管理委託及び工事請負費の内容は？

A 管理委託費は、J Aへの委託で、その内の修繕費で、約1400万円の支出があります。発酵槽テント災害復旧工事費は、台風の影響による二ヶ所の穴空きの補修のため、648万円の支出です。



循環型社会形成のつづくりセンター

消費生活センター 事業

Q 事業内容と効果は？

A 相談員2名を配置し、相談件数は115件で、電話での相談が58件、来所での相談が57件です。

相談内容は、架空請求、工事関係、電話での勧誘によるものが主なものです。町民への周知は、町広報誌や啓発用リーフレットを作成し、新聞折り込みをしています。

職員健康管理費

Q 対策は十分か？

A 定期健康診断及びストレスチェックを実施しています。必要であれば産業医に診断してもらいますが、以前に比べ受診者は少なくなっています。

特別会計・事業会計

国民健康保険税

Q 滞納による短期被保険者証及び資格者証明書の発行人数は？ また、差し押さえ件数は？

A 短期被保険者証は、161世帯で166人、資格証明書は、25世帯で29人です。また、税の滞納による差し押さえ件数は、108件で収納額は555万円です。

宝積寺駅西第一 土地区画整理事業

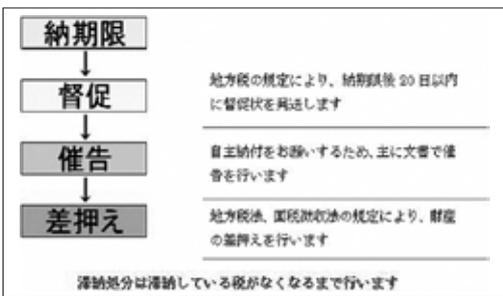
Q 保留地販売実績と事業の整備状況は？

A 保留地が1件、付け保留地が1件であり、販売額の合計金額は453万円です。道路築造は平成30年度に発注を完了しますが、下水道布設があるため、平成31年度へ繰り越します。

水道事業会計

Q 資金期末残高から検討して水道料金値下げの考えは？

A 今後、光陽台・宝石台地区の水道管更新時期を迎えます。その工事に資金を充当するため、料金の値下げは考えていません。



滞納はダメ、ゼッタイ!!

町民の負託にこたえる!!

議会からの平成31年度予算要求の概要



町民の福祉向上のため要望書を提出

はじめに

私たち議会は、日頃の活動で町民の皆様からのご意見を聞き、議会の中で審議・提言しています。「暮らしⅡ政治」と、密接な関係のところを携わっている議会は、町民の負託に応えるべく「審査・審議」、「議決」、「一般質問」、「要望」などを行い、暮らしの満足度を上げられるよう、日々取り組んでいます。

ここでは、予算要求の流れと、次年度に向けた議会からの予算要求の概要を町民の皆様にお示いたします。

そうだったのか！ 予算要求までの流れ

- 行政は、9月頃から次年度の予算編成に向けて動き始めます。
- 毎年3月の定例会で予算を審議しますが、議会も9月には予算要求できる体制整備をし、次年度予算反映に向けて取り組んでいます。
- ① 各議員より予算要求意見の提出
 - ② 議会事務局により担当課ごとの振り分け
 - ③ 各常任委員会の担当分野において審議
 - ④ 議員全員協議会で再審議及び決定
 - ⑤ 町長に予算要求

予算要求内容の紹介



防災ラジオイメージ写真

防災ラジオ貸付事業
 「防災無線が聞こえない！」という声は多く、緊急時や避難情報等がしっかり伝達できるよう防災無線改修費と防災ラジオ購入補助費



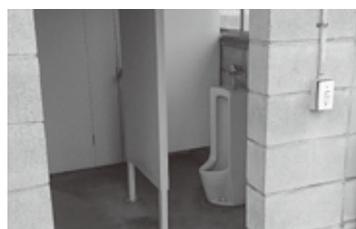
老朽化が進む庁舎

公共施設の管理・修繕
 公共施設の長寿命化を図るため、修繕費及び適切な管理ができる技術系臨時職員の人件費



今回要求した整備路線、町道311号（左）319号（中）346号（右）の路面状況。

町道改良・改修事業
 路面損傷が著しく、交通障害につながる路線の整備費



現在の石末グラウンドトイレ利用者が使い勝手良い環境へ

公共施設トイレ整備
 公共施設のトイレ洋式化と石末グラウンドのトイレ男女分離化にかかる整備費



渋滞解消で
 利便性向上へ

駅東口渋滞解消整備
 駅東北道路と東口侵入道路の接続にかかる整備費

特定健診・がん検診受診向上につながる補助
 ヤング健診の値下げ、乳がん検診対象年齢引き下げの補助費用

この他、

- ・ 消防団活動設備強化
- ・ ひよこの家整備
- ・ クラブ・部活動支援
- ・ 学校防犯対策
- ・ 北区内道路問題解消
- ・ 地籍調査事業

などの事業費用を要求しました。

町政を

問う！

6人の議員が登場

一般質問者

- ◆佐藤 晴彦 議員…………… 18
 - ①働き方改革による社会への変化は
 - ②熱中症対策は万全か
 - ③災害時のリスク低減に向けて
- ◆澤畑 宏之 議員…………… 19
 - ①定住人口4万人への挑戦は
 - ②コミュニティスクールの運営方法は
- ◆高根 博 議員…………… 20
 - ①空き家対策に対する安全対策を
 - ②重度心身障害者の医療費助成制度の充実を
- ◆齋藤 誠治 議員…………… 21
 - ①株高根沢町元気あっぷ公社の今後の経営改善は
 - ②道の駅設置計画の具体的な取り組みは
- ◆横須賀忠利 議員…………… 22
 - ①新庁舎建設スケジュールは
 - ②東小プロポーザル審査に関する説明の相違は
 - ③「町の流れを変えてはいけない」との発言
- ◆森 弘子 議員…………… 23
 - ①宝積寺市街地の生活環境整備
 - ②駅東口の整備
 - ③避難所の運営にスフィア基準を

一般質問って？

一般質問は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

議長が、質問と答弁がよくかみ合うように議事を進めるため、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要です。

そのため、議員としては、質問の構想を練り理論構成をしてその要旨を議長に通告する通告制をとっています。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

再質問は、一問一答方式で行っています。

9/5 一般質問の傍聴者 13名

傍聴

皆さんが選んだ議員の考えをリアルタイムで聞くことができます。

ぜひ傍聴にお越しください。

今回、傍聴された皆様、議会活性化アンケートのご協力ありがとうございました。

本紙では、■の質問を要約して掲載しています。

詳細は、[YouTube](#)や[DVD・会議録](#)をご覧ください。



会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約2ヶ月後に発行します。
役場・図書館(中央館・仁井田分館・上高根沢分館)で貸出し、閲覧ができます。



熱中症

問熱中症対策は万全か 答【教育長】 施設利用ガイドライン を作成

佐藤 晴彦 議員



Q 行政は町民に対し、熱中症対策の啓発・取り組みをしているのか？

A 町長

環境省の熱中症予防サ
イトから配信される「暑
さ指数」が、31℃以上の
危険レベルに達する予測
がされた時に、防災無線
で注意喚起している。

また、町広報誌やホー
ムページで、日常生活で
の注意点をお知らせして
いる。

※暑さ指数 (WBGT)

人体と外気との熱のやりとり
(熱収支) に着目した指標で、
①湿度、②日射・輻射(ふく
しゃ) など周辺の熱環境、③
気温の3つを取り入れた指
標。



熱中症計

Q 保育園・小中学
校での熱中症対
策は？

A 教育長

・保育園

熱中症計が警戒レベル
を示した時は、屋外活動
を屋内に変更している。
エアコンの活用、こま
めな水分補給、プール活
動時の日よけの設置など
の対策をしている。

・小中学校

熱中症計の活用をし、
体育・部活動の配慮・制
限をしている。

また、校長会での注意
喚起、町教育委員会で作
成したリーフレットの配
布等も行っている。



環境省熱中症予防サイト
一度アクセスしてみては



熱中症対策は十分ですか？(6月の町小学生陸上大会)

Q 屋外活動時の対
策として、ミス
ト扇風機や日よけの常設
をしています？

A 教育長

屋外・屋内を問わず、
施設利用のガイドライン
の作成と、熱中症計を備
えて、適切な対応を取れ
る体制を整える。

また、ミスト扇風機・
日よけ施設の常設につい
ては、対策の有効性を調
査し、導入の必要性を検
討する。

災害

問災害時のリスク低減に向けて 答【町長】避難所に冷風機 などの配備を検討

Q 各公共施設の安
全点検は、いつ、
誰が、どのように行っ
ているのか？

A 町長

施設管理者が月1回点
検し、状況の把握、対応
をしている。

Q 指定避難所の備
蓄品は、どの時
季にも対応しているの
か？

A 町長

寒い時期に備えて、毛
布、ストーブなどを常備
している。

Q 避難情報発信、
連絡体制の再確認・
再検討は行っているのか？

A 町長

関係機関と訓練や研修
を行ない、避難情報発令
の連携を図っている。

また、鬼怒川堤防決壊
を想定し、本町が避難情
報発令の助言をもらう
「ホットライン訓練」を
下館河川事務所長と定期
的に行っている。



阿小の防災倉庫
備えは万全か？

9月定例会採決結果委員会審議予算要求一般質問



固定人口4万人への挑戦は 答【町長】 人口減少が下げ止まり傾向に



澤畑 宏之 議員

Q 現在までの、定住人口増加プロジェクトの取り組みと成果は？

A 町長

取り組みの全体像として、「定住人口増加プロジェクト」で4つの高根沢の姿を示し、「地域経営計画2016」は重点取り組み10項目とチャレンジ40を定め、「総合戦略」では30の施策と地方創生関連事業の展開を行っている。

このような取り組みをしてきた結果、本町の人口減少は下げ止まり傾向になっている。



平成27年に作成した冊子

Q 今後、取り組み政策は？

A 町長

「地域経営計画」の前期計画が平成32年度で終了し、「総合戦略」が平成31年度に終了する。

平成31年度は、それぞれの計画の最終的な目標を見据えた重要な年度となるため、「本町の魅力を感じる」、「選んでいただけ」まちづくりを進めていき、定住人口増加により地域を活性化していくよう、全行政分野での取り組みを進める。

また、「元気あっぷむら」を拠点に新たな賑わいなどを創出する取り組みを具体的に進める。



定住人口増加プロジェクト (概要版)

教育

問 コミュニティスクールの運営方法は 答【教育長】各学校に学校運営協議会を 設置

Q 本町で実施するコミュニティスクールの、何を目的とするのか？

A 教育長

高根沢版コミュニティスクールは、学校が家庭や地域の協働により、子ども達を育成する組織を目指し、「みんなの学校」と名付け、現在準備を進めている。

協働による新たな教育力を最大限に活かし、より一層子ども達の生きる力の育成を図っていくという目的で、各学校に学校運営協議会を設置し、特色ある学校教育が実施される。

Q 今までの、学校評議員制度と運営協議会制度の違いと役割は？

A 教育長

学校評議員制度は、学校教育法に基づく制度で、その目的は開かれた学校づくりの推進である。

保護者や地域住民などの意見を聞き、学校運営に反映できる制度で、学校教育活動の理解や評価をいただいている。

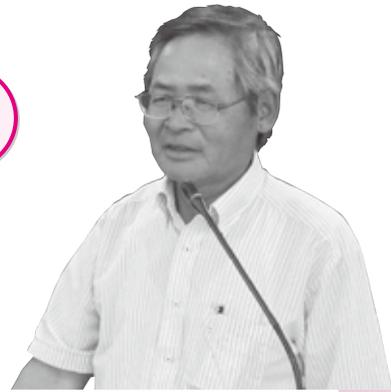
学校運営協議会制度は、保護者や地域の代表だけでなく、学校ボランティアと一緒に活動してくれる方も含め、学校経営計画の承認や評価、意見をいただき、ともに目標に向かって進んでいく。



保護者の力を活かした「手話教室」(阿小)

問 空き家に対する安全対策を 答【町長】条例に基づいて対応をしていく

空き家



高根 博 議員



年々朽ち果てる空き家
空き家の有効活用を

また、「空き家バンクシステム」で、空き家の有効活用につなげるとともに、管理義務を明確にして、安心安全なまちづくりを推進する。



高根沢町
空き家バンク

Q

空き家の現状は？

A

町長

平成27年4月に「空き家等に関する条例」が施行され、これと共に「空き家等対策に関する特別措置法」に基づき適正に管理をしている。
現在まで、管理不全の情報があった空き家は22件で、「特定空き家等」にあたるのが4件、庭木の管理不全で状況報告を行ったものが7件ある。

Q

どのような対策を行い、問題解決を図るのか？

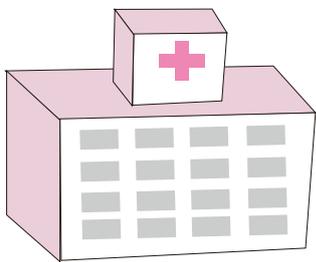
A

町長

管理不全の情報には、現地確認をし、所有者や管理者に対し指導書を送付する。
樹木等の管理不全は、状況報告を送付する。
それでも改善しない場合は、条例等に基づいた勧告をし、必要な措置を取るよう命令し、命令に従わない時は、所有者や管理者の氏名を公表する。

問 重度心身障がい者の医療費助成制度の充実を 答【町長】現物給付・自動償還払い方式は考えていない

福祉



Q

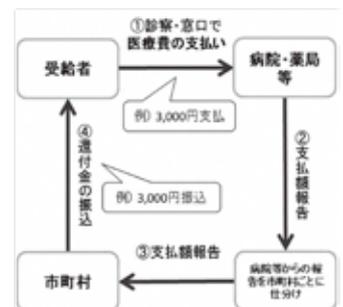
現物給付に向けた本町の取り組みはあるか？

A

町長

平成29年度の助成額は、約3490万円を助成している。
現物給付を導入すると、県補助金が2分の1から4分の1に減額され、町の負担額が約2000万円増加する。
町の負担が2倍以上になるので、現時点での導入は考えていない。

また、自動償還払い方式は、診療時に自己負担額を全額支払うと、医療機関から助成金の申請があったとみなし、受給者の指定口座に助成金を振り込む方式である。
この方式を導入するには、国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金等から、診療データを提供してもらう必要や、県内市町で導入しているところがなく、町単独でシステムの開発・改修に多大な費用を負担することになり、この方式の導入は考えていない。



9月定例会採決結果委員会審議予算要求一般質問



問 元気あつぷ公社の今後の経営改善は 答【町長】新たな「施設整備」が必要

指定管理



齋藤 誠治 議員

Q 赤字要因の分析と赤字解消するための経営改善は？

A 町長

新たな商品やサービス向上でも、黒字になることが出来なかったことから、「元気あつぷむら」は経営健全化を図ることが困難な施設であると分析できる。

また、赤字の主な原因は、現状の温泉やレストラン、農産直売所が頑張っても、黒字にすることができず、黒字化する方策が見えない施設となったといえる。

現状を踏まえ、「元気あつぷむら」を赤字体質から脱却するには、経営の改善指導のみで赤字脱却は不可能であり、「新たな施設整備」が必要であると判断した。

Q 筆頭株主である町は、決算で赤字になることは把握していたのか？

A 町長

経営状況は、担当課の産業課で、元気あつぷ公社から四半期ごとの経営状況の報告を受けていたため、決算で赤字になることは株主総会の前には把握していた。

＜経営状況実績＞

区分	平成29年度実績	平成28年度実績
売上高	3億2139万円	3億2134万円
売上原価	1億5266万円	1億5124万円
売上総利益	1億6873万円	1億7010万円
販売管理費	1億9462万円	1億8127万円
営業利益	▲2589万円	▲1117万円

問 道の駅設置計画の具体的な取組は

答【町長】情報発信館、屋外トイレ、

駐車場を整備



Q 道の駅の全体事業計画と、元気あつぷむらとの連携は？

A 町長

平成32年4月のプレオープンに向け、今年度中に道の駅の登録申請を行うとともに、道路情報や観光情報などを発信する情報発信館と屋外トイレ、駐車場を整備する。

また、道の駅は「元気あつぷむら」を活性化させる1つの要素で、全国に知ってもらう手段になると考えている。

一体的な整備を行い、新たな「元気あつぷむら」を創っていきたいと考えている。



現在の北側駐車場

Q 道の駅の収支見込みと、元気あつぷむらの連結収支見込みは？

A 町長

「道の駅・元気あつぷむら」の収支は、「元気あつぷむら」の活性化に向けた基本計画を作成した段階で、これから、個々の事業内容等を精査し、「道の駅・元気あつぷむら」全体の事業計画を策定していく。

新たに整備する施設は、収入が発生するものではなく、また独立した施設として運営するものではないため、「元気あつぷむら」と一体で収支を計算することになり、連結収支という考え方にはならない。



庁舎



問新庁舎建設スケジュールは 答【町長】無期限延期

横須賀 忠利 議員

9月定例会採決結果委員会審議
予算要求
一般質問

Q 企画提案書の提出期限が、平成30年7月24日となっているが、なぜ提出期限を待たずに、平成30年7月20日の時点で、議会全員協議会に資料提出したのか？

A 町長

昨年8月の全員協議会以降、新庁舎建設に関する情報を議員各位に示していなかったため、議員の方々より情報提供を求める声や、新しく議員になり新庁舎建設スケジュールを知らない方もいるので、7月20日の全員協議会に改めて建設スケジュールを提出した。

現在の庁舎は

町のシンボルである役場庁舎は、昭和38年に建てられ、55年が経過しています。
雨風や地震に耐えながら歴史を刻んでいます。



町のシンボル新庁舎建設はいつになるのか？

Q 今後の計画は？

A 町長

基本構想・基本計画の策定を中止にしたことで、新庁舎建設の議論は無期限で延期する。

問東小プロポーザル審査に関する説明の相違は 答【町長】事業実施に対し決裁を指している 【教育長】本要綱を確認し理解している

契約

Q 平成30年6月7日定例会で、審査要領等の審議・決定は「私の決裁事項ではない」と答弁した。
平成28年1月28日の全員協議会で、町長はプロポーザル審査要領について「私の決裁事項です」と説明したが間違いか？

A 町長

今年6月の答弁は、プロポーザル方式での事業実施に対して審査会を開催する前段で、事業実施伺いにあわせて「実施要領」「仕様書」「審査要領」「審査基準」など、プロポーザル審査会に提出される会議資料と要領案について、「私が決裁をする」と答弁している。
平成28年1月の全員協議会で「私の決裁事項」と申したことは、この事業実施に対し決裁を指したものである。

Q 平成29年12月7日の質問・答弁内容で、委員長（教育長）は、「町長の決裁事項ではない」と回答しているが、平成28年1月28日の時点で、町長の決裁事項ではないと理解していたのか？

A 教育長

審査委員会の開催前に本要綱を確認しており、平成28年1月28日の時点でも理解している。

平成28年1月の状況

- ・第1回プロポーザル審査委員会
- ・第2回プロポーザル審査要領等採点及びプレゼンテーション審査
- ・同種業務実績数の内容を協議・検討



問「駅西第二地区」都市計画の推進状況は 答【町長】来年2月に地域説明会を開催



森 弘子 議員



9月定例会採決結果委員会審議予算要求一般質問

Q 宝積寺駅西第二地区の道路や雨水、下水道など整備は、都市計画道路を中心とした「沿道整備街路事業」で行う方針であるが、事業実施に向けての推進状況は？

A 町長 来年2月に地域説明会を開催し、平成31年度から各種調査等を実施していく考えでいる。

Q 駅前通りの側溝が流されており、悪臭が酷いと苦情が出ているが町の方策は？

A 町長 町は、市街地の生活雑排水を適切に処理し、生活環境の向上のため、公共下水道事業を平成37年度に整備を完了すべく、進めている。

Q 町道に開田組合で使用した水路等が残り、交通の支障となっているが、町は撤去についてどう考えているのか？

A 町長 開田組合の用水路等は、町が把握しているのは、町道の敷地ではなく、私有地に整備されているものである。本来、開田組合が解散する前に用水路等の撤去をすべきであると思うが、町で撤去すべきではないと判断している。



使われていない開田組合の用水路



問避難所の運営にスファイア基準を 答【町長】より高い基準での開設を考える

A 町長 スファイア基準だと、避難所の1人当たりのスペースは3.5㎡で、トイレは20人に1基の割合で設置され、その男女比は1対3になるように設置する等の項目がある。

Q 東海第二原発再稼働で、平成30年3月28日、茨城県城里町と受け入れ避難自治体の協定が交わされた。城里町の6500人を受け入れる体制はできているのか？

A 町長 この協定は、原子力災害時の受け入れであり、地震等複合型の災害で高根沢町が被災した場合、町民が優先である。

Q 日本は「スファイア基準」という国際的な基準を満たしておらず、避難生活の原因で多くの人が亡くなっている。今後、避難所の運営に「スファイア基準」を参考にしているのか？

A 町長 町として、より高い基準で避難所を開設できれば良いとは考えている。

Q 日本は「スファイア基準」という国際的な基準を満たしておらず、避難生活の原因で多くの人が亡くなっている。今後、避難所の運営に「スファイア基準」を参考にしているのか？

A 町長 町は、原子力災害が発生し、避難開始の連絡が城里町から来た段階で避難所の開設を行い、城里町へ引継ぎを行う協定となっている。



∞プロフィール∞
こぐち えいこ
古口 栄子

出身地：文挾
趣味：ガーデニング
俳句
好きな言葉：「マイペース」

社会福祉協議会の第2層生活支援コーディネーターに、これからの地域福祉について聞いてみました。

広報委員の突撃インタビュー
あなたの声を町政に

**地域で「ご近助」
困った時は「お互い様」
社会の復活に向けて**



「地域づくり勉強会」に参加した時の古口さん

Q 第2層生活支援コーディネーターになつた経緯は？

A 北高根沢中学校区の「地域づくり勉強会」に参加し、そこで第2層のコーディネーターを知り、興味を抱き、この役割を担いたいと思つたからです。

Q 勉強会に参加するなど、福祉に関心を抱くきっかけは何ですか？

A 姉が病気で、在宅酸素を使用しての生活を見て、社会資源を考える機会や、ケアマネージャーの仕事をしていたことも、関心を抱く要因になっていと思ひます。

Q コーディネーターとして、地域の方と話をされ、地域の福祉に対する現状をどの様に分析していますか？

A 既存の制度や、仕組みを上手に利用されてなく、例えば、いつでも通える居場所を知らない地域の方があることに気付きました。

Q こうした現状の中、一番大きな地域課題は何だと思ひますか？

A 住み慣れた地域で、住み続けていくための様々な課題を話し合う場が必要だと思ひます。そして、そのような「場づくり」をお手伝いすることが私の役目の一つです。



インタビュー風景

Q 様々な方々との連携で、地域包括ケアシステムが達成できると思ひますが、北高根沢中学校区で連携が不足していると感じることはありますか？

A いま以上に、地域住民・福祉事業者・医療機関・行政など様々な連携が必要だと思ひます。

Q 議会に期待するものはありますか？

A 議会で、生活支援事業の理解を得るため、現状や活動について話す場を設けて欲しいです。

Q まちづくり全体の将来像で、どの様な町になつてほしいですか？

A 生活支援は、「高齢者事業」ですが、地域包括とは、高齢だけでなく、障がいのある人や、子どもなども含めた「誰もが」のなかで、全体で考える必要があると思ひます。近い将来、誰もが幸せに暮らせる社会が実現されることを期待します。

取材を終えて、福祉事業の重要性を取材を通じて感じさせられる事が多々ありました。私たち議会も福祉事業にかかわる方々と共に、住みやすい町づくりを目指して、頑張つてまいります。

暮らしの政治を見てみよう

**議会傍聴へ
お越しく下さい**

次回の定例会は12月4日～13日予定。
日程詳細・議事録は、
町ホームページをご覧ください。

議会の情報をより早く皆様へ

次回の発行は1月20日になります。

「議会だより」掲載写真募集

写真は町内のイベントや人物、風景をとつたものをデジタルデータ等で提出してください。皆様の応募をお待ちしています。(写真は返却いたしません)

一・

広報誌が
スマホで
見れて便利
「マチイロ」&
「栃木イーブックス」
を検索

